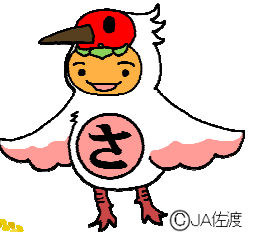




JA 佐渡 自己改革

2019 年度 主な実践内容と取り組みの成果

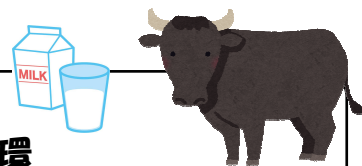
JA 佐渡は農業・地域を支える組織として、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つを目標に掲げ、自己改革工程表」を策定し自己改革に取り組んできました。3カ年の取り組み結果として「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」に関し主な取組内容を報告します。また、わたしたちはこれからも、組合員や地域住民の声に耳を傾け、真剣な議論を通じて、農業・地域の確かな方向性を見出す協同組合として策定した「第9次3カ年計画アクションプラン」を基に、着実に自己改革を進めていきます。



2019 年度 農産物販売高

目標 57.5億円	実績 56.4億円
米:42.9 億円 園芸:10.6 億円 畜産:4 億円	米:43.4 億円 園芸:9.1 億円 畜産:3.9 億円

畜産



畜産農家のコスト削減と地域循環

耕畜連携を目指しWCS（稲発酵粗飼料）の面積拡大に取り組むと共に、29年8月より飼料用米を利用してTMR（混合飼料）の供給を開始しています。また、大型和牛繁殖支援施設（CBS）も本格稼働し水田・畑へ堆肥を供給しています。

佐渡和牛の増頭支援

繁殖農家の支援のために、巡回指導会の取り組みを強化しました。大型和牛繁殖支援施設（CBS）で預託飼育を行なっています。

酪農家の所得向上と加工施設の機能強化

佐渡だから出来る高品質生産農場（クリーンミルク認定農場）の継続取り組みと乳製品の販売拡大に取り組みました。また、新たな生乳プラントが30年3月より稼働しています。

2019 年度目標	到達点	達成率
【畜産農家のコスト削減と地域循環】		
・水田フル活用による稲WCSの拡大 面積 150ha	129.2ha	86.1%
・飼料用米のTMRへの使用 19t	14.6t	76.8%
【佐渡和牛の増頭支援】		
・家畜市場の増頭 上場頭数 350 頭	302 頭	86.2%
販売額 240,500 千円	176,011 千円	73.1%
・CBSでの預託飼育 10 頭	12 頭 (成牛 10、子牛 2)	120.0%
【酪農家の所得向上と加工施設の機能強化】		
・生乳出荷量 2,300t (生乳販売高 276,000 千円)	1,497t (186,307 千円)	65.0%

園芸



島外競争力のある産地形成

園芸重点品目であるアスパラガスと水稻後作園芸作物（キャベツ、ブロッコリー）の生産拡大に取り組みました。

おけさ柿の生産拡大

研修会等を開催し、おけさ柿の収量向上に取り組むと共に、加工柿等の付加価値商品の拡大に取り組みました。また、ジョイント栽培等の導入による園地の改植に取り組みました。

2019 年度目標	到達点	達成率
【島外競争力のある産地形成】		
・アスパラガス 累計面積 8ha (販売額 12,000 千円)	5.4ha (1,381 千円)	67.5% (11.5%)
・水田フル活用による園芸作物 累計面積 8ha (販売額 11,000 千円)	4.5ha (4,212 千円)	56.2% (38.3%)
【おけさ柿の生産拡大】		
・おけさ柿の収量向上 1.6t/10a	0.76t/10a	47.5%
・付加価値商品の拡大 加工柿 160,000 千円	137,225 千円	85.7%
冷蔵柿 14,000 千円	6,573 千円	46.9%
・ジョイント栽培等園地の改植 累計面積 3ha	1.1ha	36.7%

担い手

出向く相談・提案機能の強化による経営支援

融資や農機担当者等とTACが連携・出向く体制を強化し、経営相談や提案・補助事業申請手続き等にあたりました。

担い手の育成支援

おけさ柿の次世代担い手の育成を目的に「おけさ柿担い手育成塾」を開校しています。

担い手農家の負担軽減

Web 農業簿記の経営データ等を活用した経営支援を実施しました。なお、2019 年度より担い手農家の労働力確保を目的とした「職業紹介事業」を開始しました。

佐渡米

高品質良質米生産

品質と食味の向上に向けて、「佐渡米未来プロジェクト品質向上 90」の取り組みに加え、各地区で指導会等を延べ430会場（2,432 名参加）開催し、基本技術の実践と地域ごとの重点対策に取り組みました。しかし、2019 年度の一等米比率は、出穂期の異常高温により、目標を大幅に下回り、食味ランキングでも 14 年続いた「特A」から 1 段階下の「A」に下がる結果となりました。

環境にやさしい農業の推進

佐渡市認証米や各種こだわり米など、実需者の要望に沿った品種と品質向上に向けて、作付誘導・面積拡大に取り組みました。

2019 年度目標	到達点	達成率
【高品質良質米生産】		
・品質、食味の向上 一等米比率 90% タンパク含有量 6.0%以下	46.6% 5.8%	差 △43.4% 差 0.2%
【環境にやさしい農業の推進】		
・コシヒカリ以外の5割減栽培 全体面積の 50%	43.0%	差 △7.0%
・佐渡市認証米の面積拡大 1,200ha	1,038ha	比 86.5%

農業生産コスト



共同施設の有効利用の提案

生産コスト低減や大規模農家の計画刈取りのため、平日割引や大口利用割引等、CE の利用提案を実施しました。また、おけさ柿選果場の経費負担軽減のため集荷量の確保による物流経費の圧縮に取り組みました。

農業機械・燃料のコスト低減

低コスト栽培技術の導入や、農機の長期使用によるコスト低減として点検・格納整備の提案を進めました。また、各種キャンペーンにより燃料コスト低減を図りました。

2019 年度目標	到達点	達成率
【共同施設の有効利用の提案】		
・カントリー等の活用提案 利用件数 640 件	508 件	79.4%
稼働率 86%	84.0%	差 △2.0%
・おけさ柿選果場のコスト圧縮 経費率 40%	48.5%	差 △8.5%
【農業機械・燃料のコスト低減】		
・疎植、密苗 普及面積 496ha (前年 10%増)	疎植 488ha 密苗 20.1ha	102.4%
・農機具長期使用提案 事前点検 440 件	471 件	107.0%
格納整備 352 件	267 件	75.9%
・燃料の値引き還元 ガソリン 196 万円	193 万円	98.5%
灯油 1,480 万円	1,552 万円	104.9%

JA 佐渡は組合員・担い手・地域住民との徹底した話し合いを通じて、佐渡の食と農・地域を守る取り組みを進めてまいります